

牛のための献立表

—東北・北海道向—

苗種設計
種場
印育種
雪上野幌



北の国にも柔かい南の風が吹いて、四尺余り積つていた雪も日毎にへつて来た。黒々とした土が、なつかしい香りを含んで、顔を出し初めた。今年はずの歳だが、最近の酪農ブームで、牛様牛様というところ、畜舎の愛牛は、モ一春ですよと、われわれに何かを告げている。そうだ今年こそ

牛のために思い切つて良い飼料を豊富に準備しなければならぬ。

牛を飼う者にとつて、乳の増産とその生産費の切下げに直接響くものは、何といつても飼料の問題をいかにするかということである。飼料は、もちろん自給飼料だけでは間に合わない場合が多いので、相当量は購入しなければならぬが、乳牛の維持飼料の全部と生産飼料の一部は是非とも自給できる態勢が必要である。たとえば年間泌乳量二〇石くらいの乳牛は六〜七反、場合によつては四〜五反の圃場からとれる飼料作物で間に合わせたいものである。極めて雑な計算であるが二〇石の牛乳を一升五〇円で売つて一〇万円、七反の圃場の飼料作物で間に合わせたとすると、乳代だけで反当一四、〇〇〇円、五反として反当二〇、〇〇〇円の収入といふことになる。(もちろん厩肥や仔牛の生産は常に伴うのであるが)これが多量の購入飼料で賄われたとすると、一寸考えねばならぬ。

月 日 (日数)	作物名	一日 給与量	所要 反当り	所要 反別	給与量中の 飼料可消化 蛋白質	備考
月 日 (二〇日間)	ルイサン一番刈(三年生) クロバト一番刈(前年春播) 計 プ(前年秋播)	二〇貫 二五貫 二五貫	四〇貫 四〇貫 八〇貫	〇五反 〇三反 〇六反	五三 二六 一〇	ルイサンにはプロームグラスを混播するがよい。 不足分、飼料単位〇・六(フスマ一六〇匁相当)
月 日 (二〇日間)	赤クロバト一番刈 チモシー一番刈 スイトクロバト二番刈 計 アルサイククロバト一番刈 オーチャード一番刈 計 麦(ベッチ混)	二〇貫 二五貫 二五貫 二五貫	八〇貫 七〇貫 八〇貫 一〇〇貫	〇三反 〇〇元 〇〇元 〇〇元	六三 二一 二一 一八	不足分、飼料単位一・〇(フスマ二六七匁相当)
月 日 (二〇日間)	ルイサン二番刈 青刈大豆 スーダングラス一番刈 計 ラデノクロバト(放牧二) スーダングラス一番刈 計	二〇貫 二五貫 二五貫 二五貫	五〇貫 八〇貫 四〇貫 四〇貫	〇五反 〇〇元 〇七反 〇三反	五三 一五 一五 九五	不足分、飼料単位一・〇(フスマ二六七匁相当)
月 日 (二〇日間)	ルイサン二番刈 スイトクロバト三番刈 スーダングラス一番刈 計 春播カブ	二〇貫 二五貫 二五貫 二五貫	五〇貫 四〇貫 四〇貫 一〇〇貫	〇五反 〇三反 〇三反 一〇〇貫	五三 一七 一七 九六	不足分、飼料単位一・〇(フスマ二六七匁相当)

さてそれでは何をどのくらい作るか、つまり今年の牛の献立はいかにするか……長年苦心された方々はいずれも立派な、土地と経営に合った牛のための献立表を持つておられて、年々これに新しいまたはより良いものを加味して、毎年飼料の生産量を増加しておられるようである。ここでは、はじめての方々を対象として、東北・北海道等積雪寒冷地における一つの例をあげて、皆様の飼料設計の一つの参考に供したいと思う。

下の表をご覧下さい。これは体重一五〇貫(胸囲一米九〇厘米)・年産乳量二〇石(一日平均七升)・その脂肪率が三・二%の乳牛を仮定して、この牛が一年間に生命を維持し、乳を出すに必要な飼料の種類と組合せ、その利用の時期と量、それに必要な土地面積を表示したものです。もちろん立地条件や経営面積、地力、牛の状態等によりそれぞれ差が生ずるから、これをそのまま適用できるものではないが、一つの参考資料として役立たせることはできる。飼料価値の計算はデンマークの飼料単位法によつたから、その詳細は専門書なり、普及員の方々に尋ねただければ幸いです。

この表に関連して、乳牛の健康を増進し泌乳量の増加を図るためには、粗飼料を十分準備すること、飼料価値の高いものをなるべく多く作ること、できるだけ数多くの飼料を組合わせること、家畜の好むものを選ぶこと、冬の飼料を豊富に準備することなどを考えるときに、飼料作物はトウモロコシ、青刈燕麦、青刈大豆、ポンキン、スーダングラス、家畜ビート等のようなその年に合うもの外に、二年または数年にわたつて利用されるクロバー類、ルーサン、チモシー、オーチャードグラス、ブロームグラス等について数年間にわたる計画(少くも五カ年計画)を樹てて栽培しなければならぬ。さらにまた個々の農家の経営面積には限度があるので、未利用地を飼料作物のために利用すること、たとえば果樹園下草としてクロバー類や青刈大豆を作付すること、または畦畔、路傍、堤塘、河川敷地、未利用の傾斜地、瘠地にフェスタク類の栽培を行うこと、さらには山地、荒廃地、砂丘地に飼肥料木等を植栽する等のことを是非考え、今年の計画に織込んでもらいたいものであります。(中野記)

飼料単位法による計算(10日間)	A			B			C		
	赤クローバー二番刈	チモシー二番刈	青刈大豆	ラデノクローバー(放牧三)	青刈玉蜀黍	クローバー、いね科混(二番刈)	青刈玉蜀黍	青刈玉蜀黍	計
計	三〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	六〇〇
不足分、飼料単位〇・九(フスマ二三〇匁相当)	七五	三三	三三	五	五	八	九	九	二七
計	三〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	六〇〇
不足分、飼料単位〇・九(フスマ二三〇匁相当)	三三	三三	三三	五	五	八	九	九	二七
計	三〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	六〇〇
不足分、飼料単位〇・九(フスマ二三〇匁相当)	三三	三三	三三	五	五	八	九	九	二七
計	三〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	六〇〇
不足分、飼料単位〇・九(フスマ二三〇匁相当)	三三	三三	三三	五	五	八	九	九	二七

註 一 体重一五〇貫、年産乳量二〇石、脂肪率三・二%の乳牛に必要な飼料単位は九・五、可消化蛋白質は一・〇五〇グラムである。

二 飼料単位の計算は中曾根徳二氏著「乳牛の飼料経済」による。

三 本表は一つの例である。経営・立地条件・乳牛の採食・泌乳・その他の状態によつて、加減されなければならぬ。